

～ 高齢者介護に携わる皆様へ ～

「第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー」のご案内

人間の基本姿勢と、「立つ・歩く」という基本動作において、足は大きな役割を果たしています。中でも爪は、体を支えたり、けり出したりする際に、力のバランスを取る重要な役割を果たします。

高齢になるにつれ、足の変形が進んで足裏のバランスが崩れたり、筋力が落ちたり、関節可動域が落ちたりして、爪の異常やタコをきたしやすくなります。それに加えて足のむくみにより、足のトラブルが複雑化します。これらが重症化すると、痛みにより生活活動度が落ち、歩けなくなったり、転倒しやすくなってしまいます。

厚生労働省は、平成15(2003)年から介護予防事業として「足指・爪のケアに関する事業」(フットケア)を盛り込み、経済産業省のホームページでは、これまでグレーゾーンとされてきた高齢者介護施設でのフットケアが明文化されるなど、国としてもこの分野への認識を高めてきています。

一方、「具体的に何から始めたらいいのか」「目の前にある足をどうしたらいいのか」「どのタイミングで医師や専門家に相談すべきか」などの疑問を抱えることもあるでしょう。

本セミナーでは、むくみ・爪のトラブル・白癬(水虫)・冷えなどのテーマ別に、総論的な講演、実技中心のライブを開催します。日ごろの悩みをエキスパートナースに相談できる場や、現場で運用されているツールや工夫に関するセッションもあります。企業展示には、非医療の現場で活用しやすく効果が期待できるデバイスが出展され、体験することもできます。

明日から生かせる知識や考え方が身に付き、人脈も得られる本セミナー。奮ってご参加ください。会場で皆様にお会いできることを楽しみにしています。

第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー 会長 花田明香

花田明香 (Hanada Sayaka) ・プロフィール

2000年、山口大学医学部卒業。6年にわたり心臓外科医としての初期教育を受けた後、2006年より血管外科医として透析グループに勤務。足とその歩行を守るための多職種チーム「はながたみ」を立ち上げ、多数の下肢救済に携わる。2017年より新富士病院外科診療部長兼血管外科センター長。同年、高齢者に対するフットケアを追求するため株式会社 ONZiii Act と共に花田メソッドフットケア研究所を立ち上げ、地域への啓蒙活動、人材育成に取り組んでいる。

高齢者介護に関わる主たる講演履歴

「高齢者の足専門診療におけるパワープレートの活用事例」(2014年12月・東京)

「血管外科医が伝授するフットケア」(2015年11月・愛知)

「リンパ解剖と浮腫の原因と改善法～トレーナーが知っておくべき“むくみの科学”～」(2017年3月・東京)

「下肢静脈瘤の最新治療」(2018年6月・静岡)

「高齢者によく見られる足のトラブルとその対処法」(2018年12月・愛知)

「これからはじめるフットケア～高齢者を足から守る～」(2018年12月・愛知)

「足を解く～血管外科医からフットケアナースへ～」(2019年3月・大阪)

「第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー」概要

●会期——2019年9月7日(土)・8時55分～18時05分

●会場——コンベンションぬまづ (プラザ ヴェルデ)

TEL : 055-920-4100

静岡県沼津市大手町1丁目1-4 (JR沼津駅北口より徒歩3分)

●参加登録費 (当日)

参加区分		当日登録
医師・企業	会員	10,000円
	非会員	11,000円
コメディカル	会員	8,000円
	非会員	9,000円
学生 (学生証提示)		2,000円

●参加方法

事前参加登録の受付は終了しました。当日参加をご希望の方は、セミナー当日、会場となるコンベンションぬまづ (プラザ ヴェルデ)・1F ホワイエ「参加登録受付」までお越しください。登録受付は8時15分～17時となります。

◆セミナー内容・およびテーマ

テーマは「The Team work - Let' s climb to the Mt.Footcare with the map -」。フットケアを登山に例えれば、頂上には「患者の足を守り、歩行を守り、その人らしい人生をまっとうすること」があります。そこに到達するためには、足をみる人々がフットケアに関する十分な知識と経験を持ち、チームワークを重視することが大切です。本セミナーではフットケアに関わる多様な職種の方をお招きし、医療従事者はもちろん非医療従事者にも役立つ講演・企画・展示を行います。

◆日本フットケア学会について

フットケアは元々、日常の大半を靴で過ごす欧米で発達した「足の医学」です。近年の日本において、フットケアはチーム医療として取り入れられると共に、患者のQOL (クオリティ・オブ・ライフ) と医療の質の向上、医療の効率化を追求するための効果的な医療手段として注目を浴びるようになりました。それを受けて、チーム医療によるフットケアの正しい知識の啓蒙・普及を目指し、2003年10月に「日本フットケア学会」が設立されました。

2019年7月1日、当学会は「日本下肢救済・足病学会」と合併し、「日本フットケア・足病医学会」が新設されました。